

ふるさと歴史散歩

〔第76回〕 道隆寺⑨

道隆寺の「伊勢女」に関する縁起口伝書の第三は、菅原守編『芸州府中荘誌』昭和七年（以下、「府中荘誌」と称す）の話がある。この話は微妙に異なるが基本的には同じである。以下、長文に付き二回に分けて紹介する。

当寺は、聖武天皇天平十三年辛酉己年三月諸国に国分寺を置かるる事となり後六十余年大同元年丙戌年、人皇五十一代平城天皇の御願、宗祖弘法大師御帰朝直後の開基にして、府白山無量寿院薬王寺と号し、本尊薬師如来並に、日光月光の両士を大師御自作になり、十二神将は厩戸皇子の御作なり。

国家鎮護、万代豊葉五穀豊穰祈願の為に御建立なし給う所、かかる霊場なれば年々盛んに仏事執行、帰依者亦多かりしが、時の盛衰のがれ難く若干の星霜と共に堂宇漸次破壊に及び、本尊も雨露を凌ぐに屋根なき迄に至り給う。時



道隆寺（現在）



前立薬師如来像

に村民中に十四五歳なる伊勢という賤の乙女あり、家は農家の事故、当村字五反田に田耕する道すがらの寺の事とて、薬王寺本尊に帰依する事一方ならず、寛和元年乙酉年五月、田植時霖雨しきりなり、伊勢田植人に後れて弁当を持ち、此の寺前を通りけるが、本尊のしと々と降る雨にぬれ給うを見て、鄙の乙女心の優しさより、自ら被れる竹の皮のばち笠を取りて、本尊に着せ参らす、自らは何の被りも

のなくて、雨を厭わず、終日働きて家に帰れるに、身体衣服の一のぬれたる所を見受けて、是如来の功德なりと、信仰益厚く、供養も愈々手厚くせるに、不思議や、日々に容貌美を増し、一、二年を出でざるに、既に近郷一と呼べる々乙女となり、後には國中類なき容色、面も其淑かな心根は随一と呼べる々に至る、遂には、九重の奥にも響きて、第六十六代一條院の帝の歡聞に達し、勅して此の童女を、永祥元年己丑三月、時の摂政関白藤原道隆卿に賜る。

府中町文化財保護審議会会長
横田 禎昭



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分までにごみステーションに出してください。

3/22 (月／振替休日)	北部	普通ごみ（月・木曜日地区）
	南部	有価物（月曜日地区） 大型ごみ（桃山2丁目・青崎中）

◆環境センターへのごみの持ち込みは受け付けていません。

平成22年度家庭ごみの正しい出し方の配布

3月中に各家庭に配布します。4月からの「ごみの出し方」「ごみの種類ごとの収集日（曜日など）」「特別収集日」などを掲載していますので、よく確認して、ごみを決められた日にごみステーションに出してください。

次のごみは有価物の布類ではありません

- ◆下着類、靴下、毛糸玉、軍手、ふきんは「普通ごみ」
 - ◆布団、座布団、シーツ、マットレス、毛布、カーテン、30cm以上のぬいぐるみ、まくら、クッション（30cm以下は普通ごみ）は「大型ごみ」
- ※再生利用ができる有価物（布類）は、「衣類」です。
※分別を間違えないように出していただき、有価物の再商品化・再資源化にご協力をお願いします。
※詳しくは、「ごみの出し方辞典（50音順）」を確認してください。

ごみは、ルールを守って出してください

- ※ダンボールには、発泡スチロールを混ぜないで出してください。
- ※電気毛布、電気カーペットは、他の大型ごみの中に混ぜないでください。